

I 研究主題

将来に夢をもち、主体的に生きる日南っ子の育成

～小中連携・小中一貫教育におけるキャリア教育の実践をとおして～

II 主題設定の理由

近年若年層のフリーター志向の高まりや無目的・不本意入学などによる学校不適應の増加、就職後の早期離職率の増加など社会問題化しており、キャリア教育の重要性が叫ばれている。

本市においても、今後の社会を支えていく児童生徒の社会の変化に対応していく能力の育成、主体的に自己の進路を選択決定できる能力の育成、明確な目的意識や将来に対する夢をもって日々の学習に取り組む態度の育成を重要な課題ととらえている。それらの能力や態度の育成のために、平成22年3月に「キャリア教育の手引き」を作成し、教職員にキャリア教育の充実を呼びかけてきた。しかし、本年6月に本市の全小中学校対象にキャリア教育に係るアンケート（教師の意識調査）を実施したところ、次のような実態があることが分かった。

- 教師は、キャリア教育の必要性を感じながらも実践に消極的な傾向がみられる。
- 「キャリア教育の手引き」の活用度が低い。
- キャリア教育の授業を実際に見たことのある教職員が少ない。
- 具体的に何を教えればよいか、イメージができていない。

キャリア教育においては、これまで教職員がおこなってきた教育活動を「子どもたちに、将来、社会人や職業人として自立していくために必要な力を身につけさせることができたか」という視点から見つめ直すことが大切である。そのことがまだ十分認識されていない実態があり、実践に消極的な傾向がみられた。「教職員のキャリア教育に対する意識改革」は本市において重要課題の1つである。

日南市では平成22年3月に小中一貫教育推進プランを策定し、小中学校9年間をとおして、すべての子どもたちの可能性を最大限に伸ばすべく、小中学校が協力して、教科学習・生徒指導・学校行事などについて目指す児童生徒像を設定し取り組んでいるところである。中央教育審議会答申（平成11年12月）においては、「キャリア教育を小学校段階から発達段階に応じて実施する必要がある。」とし、キャリア教育の実施に当たっては、「各学校ごとに目的を設定し、教育課程に位置付けて計画的に行う必要がある。」と述べている。日南市のキャリア教育についても、小中一貫教育を推進する中で充実させていく必要がある。

以上のことから、本年度、本研究所では、小中連携・小中一貫教育を推進する中でのキャリア教育の在り方について研究を深めることとした。このことは、本市の掲げる小中一貫教育のねらいの1つである「日南市民として主体的に生きる基礎を身に付けた子どもの育成」に通じるものであり、小中連携・小中一貫教育を推進する中で、キャリア教育の充実を図ることで、「将来に夢をもち、主体的に生きる日南っ子の育成」を目指したい。

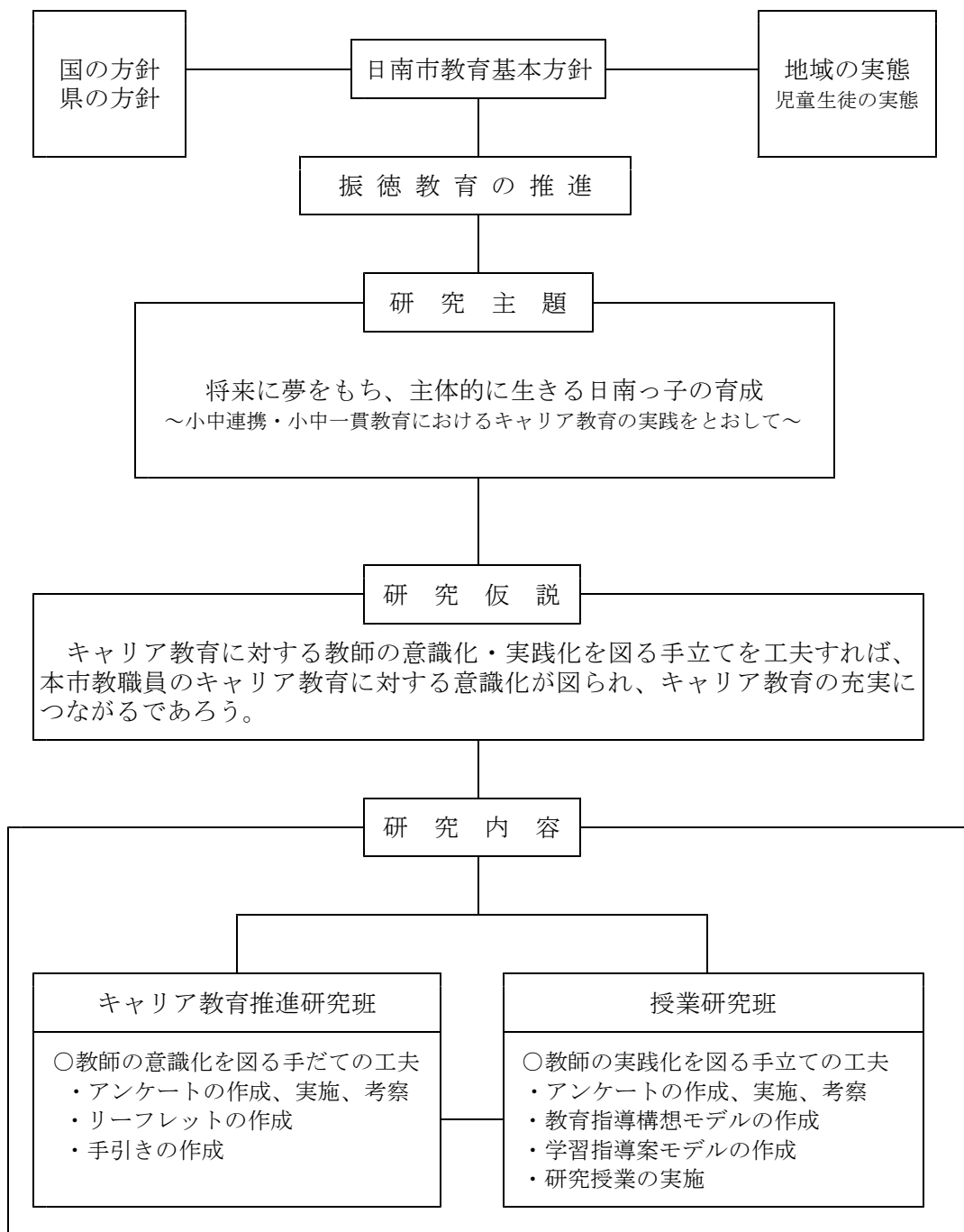
III 研究の目標

- 本市教職員のキャリア教育に対する意識改革を図る。

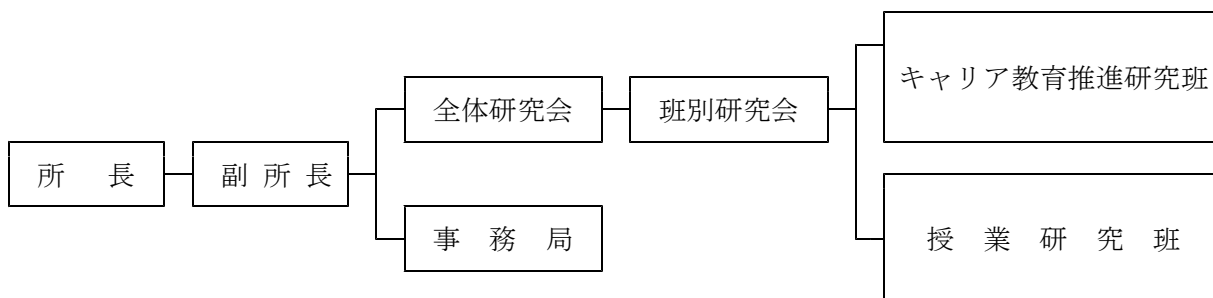
IV 研究仮説

- キャリア教育に対する教師の意識化・実践化を図るための手立てを工夫すれば、本市教職員のキャリア教育に対する意識化が図られ、キャリア教育の充実につながるであろう。

V 研究の全体構想



VI 研究の組織



VII 研究の実際

1 キャリア教育推進研究班

キャリア教育推進研究班では、教師の意識化を図るため、リーフレットと手引きを作成することにした。

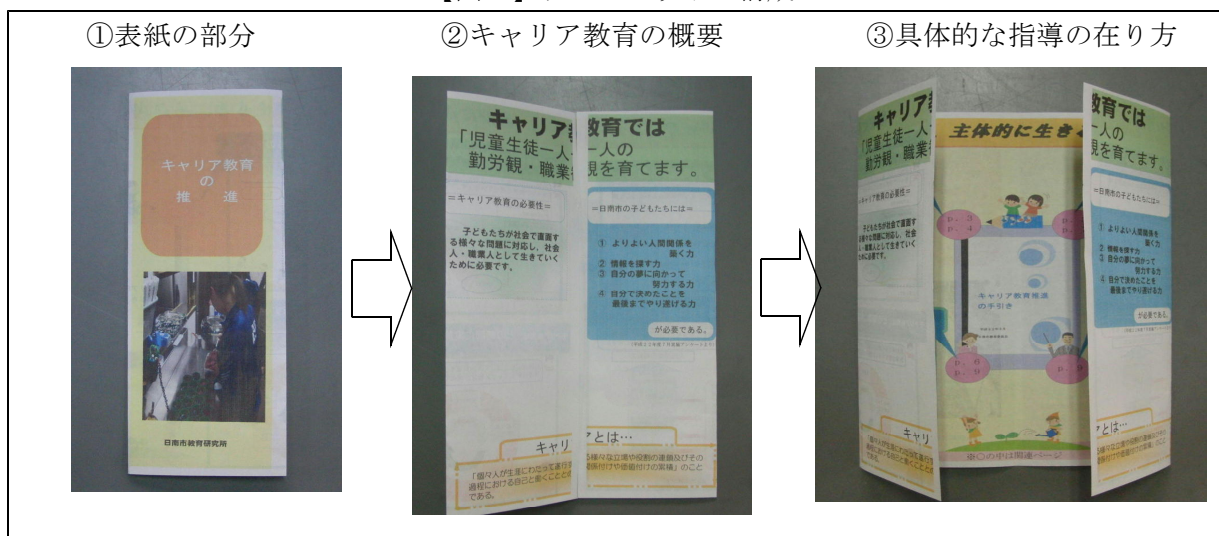
(1) リーフレットの作成

キャリア教育に対する関心を高め、キャリア教育の概要について理解させるため、来年度本市の全教職員にリーフレットを配布することにした。記載にあたっては、キャリア教育で具体的に何を指導すればよいか、イメージを持たせるために、必要最低限の項目を分かりやすい言葉で表現したり図で表したりする等の工夫をした。

ア 形態の工夫

リーフレットは、【図1】のように折り込みの形態にし、①表紙を開くと、②キャリア教育の概要について記述した部分が表れ、更に、それを見開くと③キャリア教育の具体的な指導の在り方を構造的に理解できるようにした部分が表れる3部構成にした。

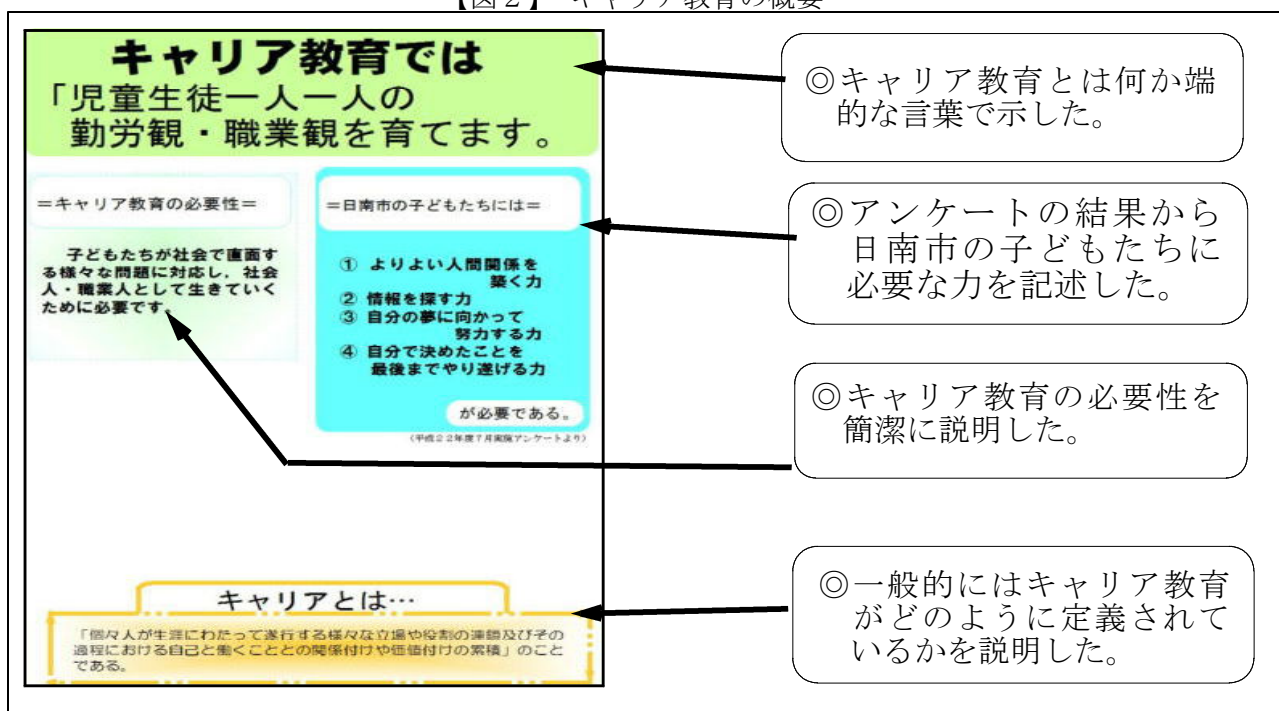
【図1】リーフレットの構成



イ 内容の工夫

【図2】は、キャリア教育の概要について記述した部分である。ここには、キャリア教育とは何か、また、その必要性について、掲載した。

【図2】キャリア教育の概要



【図3】は、キャリア教育の具体的な指導の在り方を示した部分である。【図3】に示した内容は、キャリア教育の中でも特に重要と思われるものである。教職員が指導する際、これが分かればイメージを持って指導しやすくなると思われるものを項目4つに絞り、掲載した。内容は、キャリア教育の全体の流れや教育課程における位置付け、育てる能力や授業イメージである。

更に、「日南市教育委員会 平成22年3月『日南市キャリア教育の手引き』」の活用が図られるようにする意図も含めて掲載することにした。

キャリア教育は、これまで中学校・高等学校が行ってきた進路指導だけで行うものではないこと、小学校段階から、発達段階をふまえながら指導していくものであること、また、キャリア教育は、社会人に至るまで続いていることが、教職員が視覚的にとらえられるようにした。

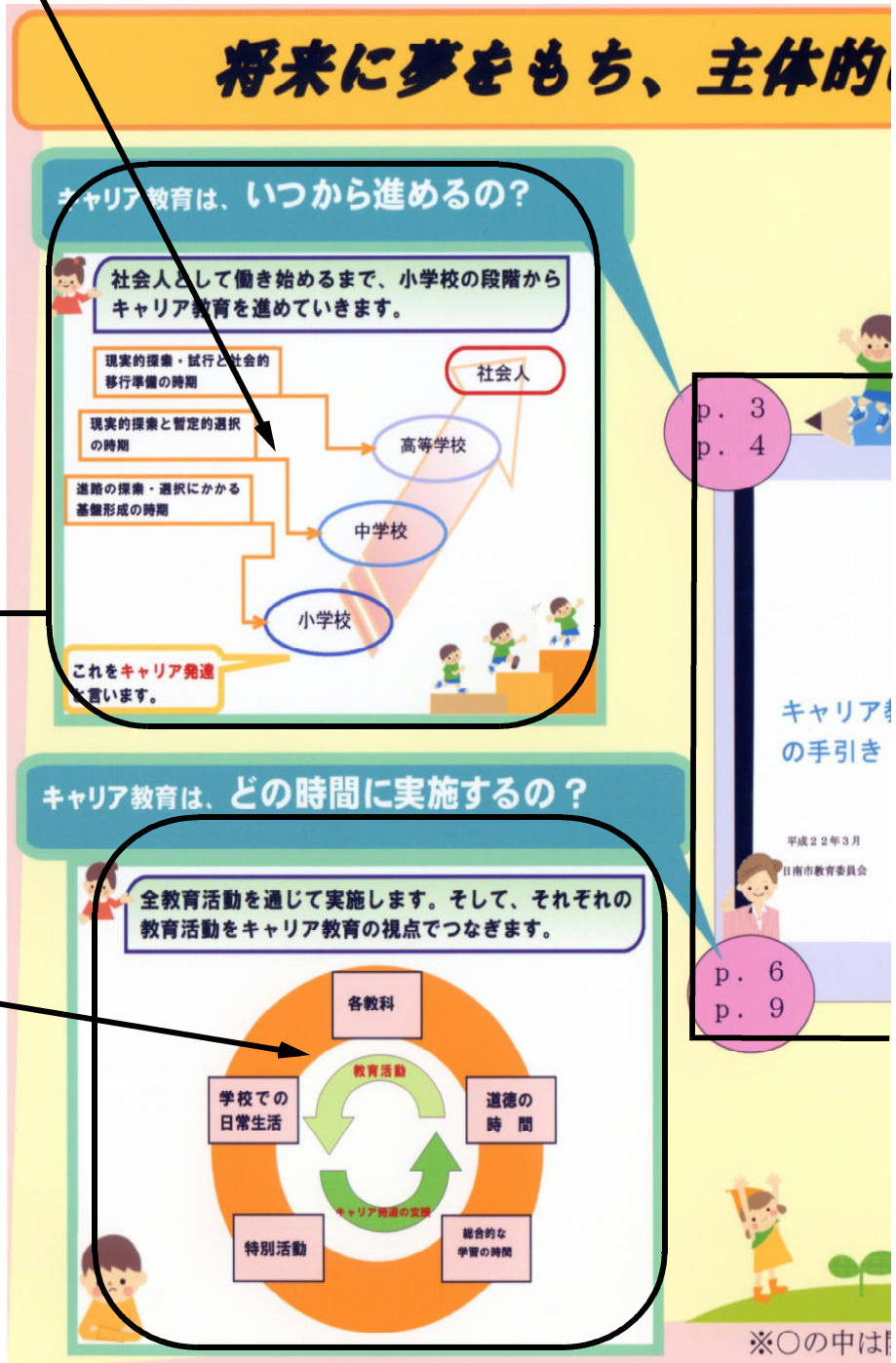
【図3】キャリア教育の具体的な指導の在り方

4つの内容の示し方は、下記図のようにQ & Aで理解し易い構成で示した。

キャリア教育は、いつから進めるの？
は質問（Q）の部分

社会人として働き始めるまで、小学校の段階からキャリア教育を進めていきます。
は答え（A）の概略を示した部分

職業探求・試行と社会的移行準備の時期
現実的探求・暫定的選択の時期
進路の探求・選択にかかる基礎形成の時期
これをキャリア発達と言います。
は詳細を示した部分である。



キャリア教育は、特別な時間を設けて実施するというイメージを払拭する意図がある。

キャリア教育は、全教育活動を通じて実施すること、また、キャリア教育は、個々の教育活動をそれぞれ単独で実施するのではなく、キャリア教育の視点でつなぎながら進めていくことが、イメージできるように、円の形で示した。

p. 3
p. 4
p. 6
p. 9

中央に「日南市教育委員会 平成22年3月 『日南市キャリア教育の手引き』」の表紙を掲載した。4つの項目は、すべて『日南市キャリア教育の手引き』とつながっていることが、イメージできるようにした。更に、各項目が手引きのどの頁に詳しく示されているのかも掲載し、このリーフレットをみることで、『日南市キャリア教育の手引き』に目を向け、積極的な活用が図られるよう工夫した。

日南市の目指す児童・生徒像

に生きる日南っ子の育成

キャリア教育では、何を育てるの？



キャリア教育では、4つの領域の8つの能力を育てます。

- 領域1 人間関係形成能力 (自他の理解能力)(コミュニケーション能力)
- 領域2 情報活用能力 (情報収集・探索能力)(職業理解能力)
- 領域3 将来設計能力 (役割把握・認識能力)(計画実行能力)
- 領域4 意思決定能力 (選択能力)(課題解決能力)

キャリア教育で育てたい能力や態度は、「職業観・勤労観を育む学習プログラムの枠組み」(国立教育政策研究所生徒指導研究センター)を基にした。

キャリア教育で育てていかなければならない能力として、教師が知っておくべき必要最低限の能力(4領域8能力)について、端的に言葉のみを示した。

p. 5
p. 7

教育推進

授業で、どのように実施するの？



キャリア教育の視点でこれまでの学習内容をとらえ直し、それぞれの教育活動の関連を明確にして実施します。

人間関係形成能力

例えば

関連する教科や特別活動等



意図的に関連させる。

キャリア教育は、意図的に、各教科や道徳、特別活動等を関連付けながら指導することがイメージできるようにした。

詳細では、例を示し、1つの能力を育てていくために、それぞれの教育活動を関連付けながら、指導することがイメージできるようにした。

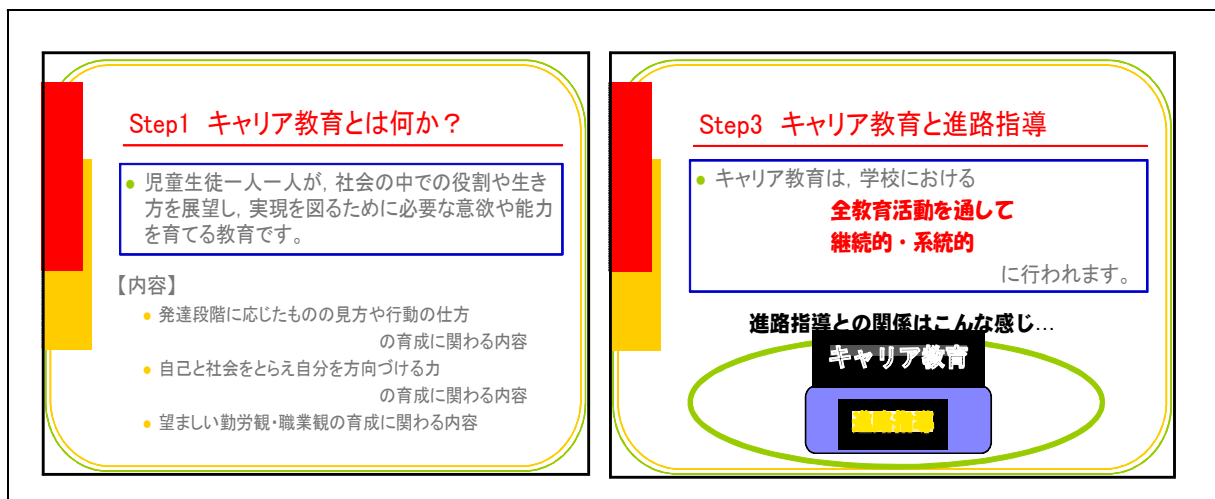
p. 9

関連ページ

(2) 手引き（キャリア教育校内研修用マニュアルパッケージ）の作成

これから、キャリア教育に各学校で取り組んでいく際に、全ての教員が同じスタンスでキャリア教育に向き合うための研修用資料として、「校内研修用マニュアル」と「校内研修用プレゼンテーション」を作成した。このマニュアルパッケージは各校のキャリア教育担当の教職員が研修をスムーズに行っていくための資料として作成した。構成は、研修の担当者がキャリア教育を理解するところから始まり、校内研修を実施するまでの準備、校内研修内容、研修後の実践までをステージという形で段階的に進められるように構成した。また、キャリア教育について共通理解していくためには資料を読み合わせするというような方法だけで理解することはかなり難しい。そこで、プレゼンテーションを作成し、キャリア教育の全体イメージ、推進の方法等を視覚的にとらえられるようにした。

【図4】校内研修用プレゼンテーション



2 授業研究班

授業研究班では、日南市教育委員会が平成22年3月に発行している「キャリア教育推進の手引き」の「学校におけるキャリア教育推進の手順例」【右図】を基に、実践的な研究を深めていくこととした。

本研究では、学習指導の在り方についての具現化を図るため、特に、キャリア教育指導構想と学習指導案モデルの作成に重点を置いて、研究を進めることにした。

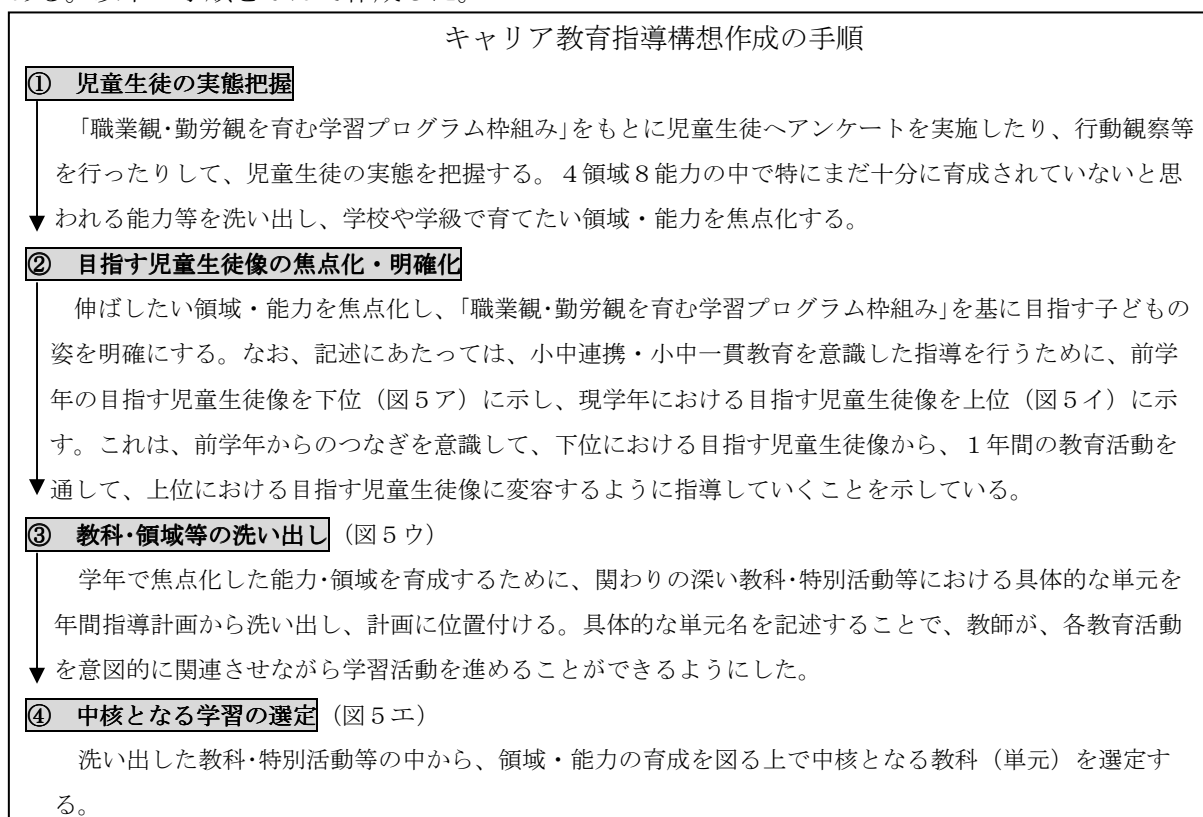
なお、キャリア教育指導構想・キャリア教育学習指導モデルについては、次頁に示す「職業観・勤労観を育む学習プログラム枠組み（日南市）」を基にしている。

学校におけるキャリア教育推進の手順例

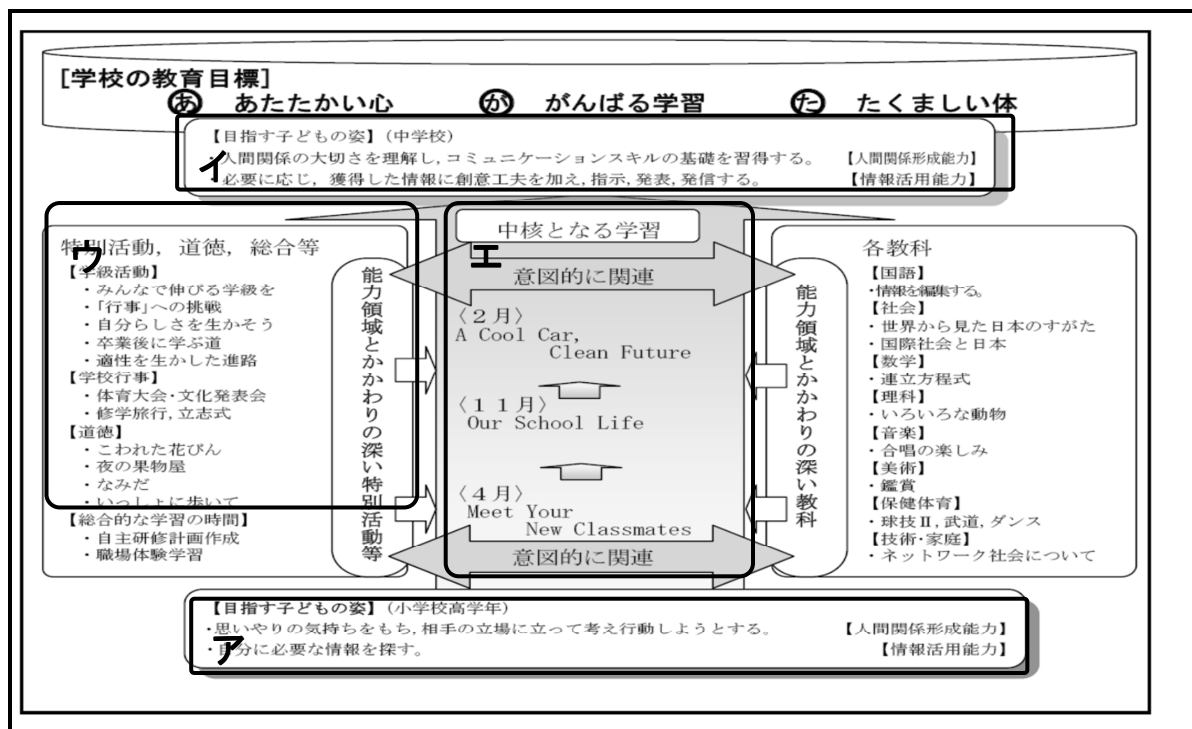
- (1) キャリア教育の視点を踏まえ、育てたい児童生徒像を明確にする。
- (2) 学校教育目標、教育方針等にキャリア教育を位置づける。
- (3) 組織として、キャリア教育推進委員会(仮称)を設置する。
(校内組織、異校種間連携組織、地域の組織との連携)
- (4) 教職員のキャリア教育についての共通理解を図る。
 - ① 社会の動向、学校と社会の連携
 - ② 4つの能力に関わる学習プログラム枠組み
 - ③ キャリア・カウンセリングの必要性
- (5) キャリア教育の視点で教育課程を見直し、改善する。
 - ① 学校の特徴、課題の明確化
 - ② 児童生徒の発達段階を踏まえたキャリア教育の理解
 - ③ 自校の学習プログラム及び、取組内容の重点の設定
 - ④ 学校間及び校種間の関連
 - ⑤ 全体的な指導計画、年間指導計画、年間行事等への反映
- (6) キャリア教育を実践する。
- (7) 家庭、地域に対しキャリア教育に関する啓発を図る。
- (8) キャリア教育の評価を行い、その改善を図る。

(1) キャリア教育指導構想の作成

【図5】は、キャリア教育指導構想である。キャリア教育指導構想は、各学校の教育目標と目指す子ども像の育成に向けてキャリア教育をどのように位置付けていけばよいかを示したものである。以下の手順をふんで作成した。



【図5】キャリア教育指導構想



(2) 学習指導案モデルの作成

教職員が、キャリア教育を意識した指導ができるように、学習指導案モデルを作成した。

学習指導案の形式 第○学年○組 ○○科学習指導案															
1	単元名														
2	目標														
3	指導観														
<p>○(教材観) 本単元は学習指導要領の2内容(3)を受けて構成されている。ここでの主な学習内容は、「.....の基礎を養う上で大変意義深い。」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>キャリア教育の視点で本単元を見ると、.....について学ぶことは、(中略).....</p> <p>学習したことをもとに生活上の観点から将来のために課題を見付け、解決しようとする学習活動を展開することは、児童の意思決定能力や将来設計能力の育成につながり、勤労観・職業観を培う上でも意義深いと考える。</p> </div> <p>○(児童生徒観) 本学級の児童は、男子18名、女子20名、計38名である。...</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>教師・保護者の願いをもとに、各教科等の目標達成をねらいながらも役割把握・認識能力や課題解決能力の育成を重点指導項目として設定し、各教科等のキャリア発達との関連性を意識(中略).....</p> <p>今後もキャリア教育の視点を意識した意図的・計画的な指導を充実させていく必要があると考えている。</p> </div> <p>○(指導観) ○○科の授業においては、.....</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>特に.....職業理解の能力も高められるようにする。(中略).....</p> <p>.....発表する機会を設け、人間関係形成能力や意思決定能力を高められるようにする。</p> </div>															
4	指導構想	*キャリア教育指導構想の挿入													
5	指導計画														
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">主な学習内容及び活動</th> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 30%;">評価規準(方法)【観点】</th> <th style="width: 30%;">キャリア発達の基礎となる能力・態度【観点】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4 日本<small>の</small>主な貿易相手国の課題や今、日本が抱えている貿易問題について調べ、これからの外国との結びつきについて考える。</td> <td style="text-align: center;">1 本時</td> <td>工業生産における貿易の役割や貿易を通して日本と世界とのつながりについて考えることができる。 (発表)【思考・判断】</td> <td>これからの日本と外国との関わり方について課題をもち、自分の力で解決しようすることができる。 【課題解決能力】</td> </tr> <tr> <td>5 本単元の学習のまとめをし、テストをする。</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>記録や考えを整理する。 (テスト)【知識・理解】</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				主な学習内容及び活動		評価規準(方法)【観点】	キャリア発達の基礎となる能力・態度【観点】	4 日本 <small>の</small> 主な貿易相手国の課題や今、日本が抱えている貿易問題について調べ、これからの外国との結びつきについて考える。	1 本時	工業生産における貿易の役割や貿易を通して日本と世界とのつながりについて考えることができる。 (発表)【思考・判断】	これからの日本と外国との関わり方について課題をもち、自分の力で解決しようすることができる。 【課題解決能力】	5 本単元の学習のまとめをし、テストをする。	1	記録や考えを整理する。 (テスト)【知識・理解】	
主な学習内容及び活動		評価規準(方法)【観点】	キャリア発達の基礎となる能力・態度【観点】												
4 日本 <small>の</small> 主な貿易相手国の課題や今、日本が抱えている貿易問題について調べ、これからの外国との結びつきについて考える。	1 本時	工業生産における貿易の役割や貿易を通して日本と世界とのつながりについて考えることができる。 (発表)【思考・判断】	これからの日本と外国との関わり方について課題をもち、自分の力で解決しようすることができる。 【課題解決能力】												
5 本単元の学習のまとめをし、テストをする。	1	記録や考えを整理する。 (テスト)【知識・理解】													
<p>学習指導</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">段階</th> <th style="width: 35%;">学習内容及び学習活動</th> <th style="width: 30%;">☆キャリア教育の視点【キャリア発達の基礎となる能力・態度】</th> <th style="width: 25%;">◎評価の視点・評価項目(評価方法)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">調べる・深める</td> <td>3 これからの貿易について考える ○ 貿易を ぎ、これからの貿易で な ことについて考える。 ・ 自分の国 だけ でなく、相手の国の産業も か になるような貿易 の 方 が必要だと思う。 ・ お い の国について、もっと深く知り、 し う必要がある。 ・ お い の国が し い、ルールを決めていくことが 大 だ。</td> <td style="text-align: center;">学習活動 動 学 習 【 動】</td> <td>◎思考・判断 工業生産における貿易の役割や貿易を通して日本と世界とのつながりについて考えることができる。 (一ト)</td> </tr> </tbody> </table>				段階	学習内容及び学習活動	☆キャリア教育の視点【キャリア発達の基礎となる能力・態度】	◎評価の視点・評価項目(評価方法)	調べる・深める	3 これからの貿易について考える ○ 貿易を ぎ 、これからの貿易で な ことについて考える。 ・ 自分の国 だけ でなく、相手の国の産業も か になるような貿易 の 方 が必要だと思う。 ・ お い の国について、もっと深く知り、 し う必要がある。 ・ お い の国が し い 、ルールを決めていくことが 大 だ 。	学習活動 動 学 習 【 動 】	◎思考・判断 工業生産における貿易の役割や貿易を通して日本と世界とのつながりについて考えることができる。 (一ト)				
段階	学習内容及び学習活動	☆キャリア教育の視点【キャリア発達の基礎となる能力・態度】	◎評価の視点・評価項目(評価方法)												
調べる・深める	3 これからの貿易について考える ○ 貿易を ぎ 、これからの貿易で な ことについて考える。 ・ 自分の国 だけ でなく、相手の国の産業も か になるような貿易 の 方 が必要だと思う。 ・ お い の国について、もっと深く知り、 し う必要がある。 ・ お い の国が し い 、ルールを決めていくことが 大 だ 。	学習活動 動 学 習 【 動 】	◎思考・判断 工業生産における貿易の役割や貿易を通して日本と世界とのつながりについて考えることができる。 (一ト)												

☆は、学習指導案記入上の意点を示す。

観
ア 点

観
ア
ア

指導観
ア
指導

指導計画
単元
学習内容
評価規
準
ア

学習指導
学習内容及び学習
活動
ア

指導
学習
点
な

VIII 研究会を通しての教職員の反応

研究会は、2回、小学校と中学校で各1回ずつ実施した。市研究所代表協力員（教務主任）やキャリア教育担当者に対し、リーフレット等を用いてキャリア教育の概要等について説明した後、研究授業を実施し、協議を行った。その協議での参加者の反応は以下のとおりである。

- キャリア教育は、全く新しいものをやるのではなく、これまでやっていることをすればよいと分かった。先生方の負担感を減らすためにも、この考えをリーフレットでアピールしてほしい。
- リーフレットは、教職員だけでなく職場体験等でお世話になる職場の方々にも配付するとよりキャリア教育がしやすくなるのではないか。
- 参考になった。授業は、国語や算数など、いろいろな教科のモデルを提示してもらいたい。実践例がたくさんほしい。
- キャリア教育指導構想で中核になる教科は、1つの教科で実践する方法もある。

IX 成果と課題

1 成果

- リーフレットや手引き（校内研修用マニュアルパッケージ）を作成することで、キャリア教育に対する教職員の意識を更に高めるための資料が作成できた。
- キャリア教育指導構想を作成することで、単元や教科、学年等の連続性、関連性を明確にすることができた。
- 学習指導案モデルを作成することで、キャリア教育の具体的な授業イメージをもてるようになった。

2 課題

- リーフレットや手引きの活用を図るための啓発
- キャリア教育の更なる充実を図るための多くの実践を通じた検証

[参考文献]

- ・ 小学校キャリア教育の手引き（文部科学省 平成22年1月）
- ・ キャリア教育推進の手引き（日南市教育委員会 平成22年3月）
- ・ 宮崎県教育研修センター研究員研究報告書（宮崎県教育研修センター 平成19年度）
- ・ 小学校 学習指導要領解説 社会編（文部科学省）
- ・ 中学校 学習指導要領解説 英語編（文部科学省）

[研究同人]

所長 安野 喜宏（日南市教育委員会 教育長）
副所長 河野 好宏（日南市教育委員会 教育専門対策監）
主任 米良 照彦（吾田小学校 教頭） 副主任 都甲 政文（北郷小中学校 教頭）
研究員 高梨 望（油津小学校 教諭） 成田 藍（細田小学校 教諭） 津曲 宏昭（榎原小学校 教諭）
近藤 薫（吾田中学校 教諭） 壹岐 俊郎（吾田小学校 教諭） 富永 達郎（油津小学校 教諭）
島田美津貴（南郷小学校 教諭） 佐々木逸朗（吾田中学校 教諭） 川越 秀樹（吾田東小学校 教諭）
田中 寿幸（北郷小中学校 教諭）
事務局 木場麻利子 佐藤健一郎 三田 明生（日南市教育委員会 指導主事）